



ナミビア通信

JICA 青年海外協力隊
2023 年度 I 次隊
エロンゴサ小学校
吉野 葵
2025 年 6 月 第 39 号

平山小学校の皆さんこんにちは。ナミビアの小学校で先生をしている吉野です。

先日、京都府にある小学校の5年生とオンライン交流をさせていただく機会がありました。今まで何度

かナミビアと日本のオンライン交流会を開催してきましたが、その際は時間が限られていることから、事前に質問の内容を送り合い、英語でどのように答えるかを準備してもらっていました。しかし今回の交流会では、「What ○○ do you like? (なんの○○が好きですか?)」の構文を使い回してお互いに質問をし合い、その場で手を挙げた数名の子どもたちが「I like ○○.(私は○○が好きです。)」と答えるという形で交流しました。今まで以上に子どもたちが自由に会話することができ、この形の交流も面白いと感じました。



↑ 交流会の様子

ナミビアの公立小学校の高学年では基本的に授業が英語で行われているので、ほとんどの子が英語に慣れているのですが、日本では基本的に英語の授業のときくらいしか英語を使う機会はありませんね。(もしかしたら、他にも使う機会がある人もいるかもしれませんが...) 私も、ナミビアに来てから毎日英語で授業をするようになり、特に算数で使う専門用語は日本で使ったこともない英単語ばかりです。でも、「これって英語でこう表現するんだ。」と、日々勉強になることばかりで面白いです。そこで今回は、皆さんにも英語の算数の問題をいくつか紹介したいと思います。どんな問題か予想しながら解いてみてください！

英語で算数の問題を解いてみよう！

第1問 (1年生で学習すること)

Add 3 and 4.

第2問 (2年生で学習すること)

Multiply 2 and 5.



第3問 (3年生で学習すること)

Count the number of sides in a triangle.

第4問 (4年生で学習すること)

Round 47 to the nearest ten.



第5問 (5年生で学習すること)

Convert 0.5 to a common fraction.

第6問 (6年生で学習すること)

Find the area of a circle with radius 3cm.

★答え合わせ★

【第1問】 7 「Add」は「たす」という意味。「たし算」は「Addition (アディション)」といいます。
「3+4」は「3 plus 4 (3 プラス 4)」と読みます。

【第2問】 10 「Multiply」は「かける」という意味。「かけ算」は「Multiplication (マルチプリケーション)」
といいます。「2×5」は「2 times 5 (2 タイムズ 5)」と読みます。

【第3問】 3 「Sides」は「^{へん}辺」を表します。「^{さんかくけい}三角形の^{かど}辺の^{かず}数を数えなさい」という問題でした。

【第4問】 50 「Round ○○ to the nearest 10.」は「10の^{くらゐ}位までの^{ししやごにゆう}数に四捨五入しなさい」という意味。
「round」は「まるい」という意味で、「数をまるくする (切りのいい数にする)」ということ。

【第5問】 $\frac{1}{2}$ 「Convert」は「^{へんかん}変換する」という意味。「Common fraction」は「^{ぶんすう}分数」のことなので、この問
題は「0.5を分数に変換しなさい」という意味でした。

【第6問】 28.26 cm² 「area」は「^{めんせき}面積」、「circle」は「^{えん}円」、「radius」は「^{はんけい}半径」という意味なので、この
問題は、「半径 3cm の円の面積を^{もと}求めなさい」でした。3×3×3.14で答えが求められますね。

どうでしたか？ 興味がある人は、ぜひ他の算数用語についても、英語でどう表すのか調べてみてください！